

使用上の注意改訂のお知らせ

2018年9月

薬価基準未収載

慢性疼痛／抜歯後疼痛治療剤

劇薬 処方箋医薬品^{注)}

トアラセット[®] 配合錠「杏林」

TOARASET[®] Combination Tablets “KYORIN”

注) 注意－医師等の処方箋により使用すること



販売 ニプロ株式会社
大阪市北区本庄西3丁目9番3号

プロモーション提携
ニプロESファーマ株式会社
大阪市北区本庄西3丁目9番3号

製造販売元
キョーリンリメディオ株式会社
富山県南砺市井波885番地

このたび、弊社販売のトアラセット配合錠「杏林」の「使用上の注意」を自主改訂致しましたのでご案内申し上げます。

つきましては、下記の内容に十分ご留意頂きますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

改訂内容 (_____ : 自主改訂箇所)

改訂後			改訂前		
【使用上の注意】 3. 相互作用 (1) 【併用禁忌】 (併用しないこと)			【使用上の注意】 3. 相互作用 (1) 【併用禁忌】 (併用しないこと)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
モノアミン酸化酵素阻害剤 セレギリン塩酸塩 エフピー ラサギリンメシル酸塩 アジレクト	外国において、セロトニン症候群(錯乱、激越、発熱、発汗、運動失調、反射異常亢進、ミオクローヌス、下痢等)を含む中枢神経系(攻撃的行動、固縮、痙攣、昏睡、頭痛)、呼吸器系(呼吸抑制)及び心血管系(低血圧、高血圧)の重篤な副作用が報告されている。モノアミン酸化酵素阻害剤を投与中の患者及び投与中止後14日以内の患者には投与しないこと。また、本剤投与中止後にモノアミン酸化酵素阻害剤の投与を開始する場合には、2～3日間の間隔を空けることが望ましい。	相加的に作用が増強され、また、中枢神経のセロトニンが蓄積すると考えられる。	モノアミン酸化酵素阻害剤 セレギリン塩酸塩 エフピー	外国において、セロトニン症候群(錯乱、激越、発熱、発汗、運動失調、反射異常亢進、ミオクローヌス、下痢等)を含む中枢神経系(攻撃的行動、固縮、痙攣、昏睡、頭痛)、呼吸器系(呼吸抑制)及び心血管系(低血圧、高血圧)の重篤な副作用が報告されている。モノアミン酸化酵素阻害剤を投与中の患者及び投与中止後14日以内の患者には投与しないこと。また、本剤投与中止後にモノアミン酸化酵素阻害剤の投与を開始する場合には、2～3日間の間隔を空けることが望ましい。	相加的に作用が増強され、また、中枢神経のセロトニンが蓄積すると考えられる。

改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行の「DRUG SAFETY UPDATE 医薬品安全対策情報No.273」に掲載される予定です。なお、改訂後の最新添付文書は当社ホームページ (<http://www.nipro.co.jp/>) 及び独立行政法人医薬品医療機器総合機構ホームページ (<http://www.pmda.go.jp/>) に掲載されています。併せてご利用ください。